

2026年4月21日

四国地域の経済動向（概要） （2026年2月分）

～四国地域の経済は、持ち直しの動きがみられる～（→）
（持ち直しの動きがみられる）

生産（→）	鉱工業生産は、一進一退で推移している。（一進一退で推移） 鉱工業生産指数は、前月比が2カ月ぶりに上昇した。
個人消費（→）	個人消費は、持ち直している。（持ち直している） 百貨店・スーパー販売額（全店）は、16カ月連続で前年を上回った。 コンビニエンスストア販売額は、12カ月連続で前年を上回った。 家電大型専門店販売額は、2カ月連続で前年を上回った。 ドラッグストア販売額は、56カ月連続で前年を上回った。 ホームセンター販売額は、8カ月連続で前年を下回った。 乗用車新車新規登録・届出台数は、8カ月連続で前年を下回った。
住宅着工	新設住宅着工戸数は、2カ月ぶりに前年を下回った。
公共工事	公共工事は、請負金額が2カ月連続で前年を上回り、年度累計は22カ月連続で前年度を上回った。
設備投資	2025年度の設備投資計画額は、2年連続で前年度を上回る見込み。
雇用	雇用は、有効求人倍率が前月と同水準、一般新規求人数は3カ月ぶりに前年を下回った。
倒産	倒産件数は、2カ月連続で前年を上回り、負債総額は2カ月ぶりに前年を下回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。（ ）内は前月の基調判断を記載している。

【四国の経済指標】

2026年2月

	四 国			全 国		
	前月比(%)	前年同月比(%)		前月比(%)	前年同月比(%)	
鉱工業生産指数 (2020年=100、季節調整済 前年同月比は原指数)	96.2	0.6	▲ 0.2	102.3	▲ 2.1	0.3
鉱工業出荷指数（〃）	90.6	▲ 1.1	▲ 3.1	100.5	▲ 1.6	▲ 0.2
鉱工業在庫指数（〃）	107.6	2.6	5.7	98.1	0.3	▲ 3.4
百貨店・スーパー販売額（単位：億円）（全店） （既存店）	431		0.3	17,725		2.5
コンビニエンスストア販売額（単位：億円）	232		0.8	10,014		2.2
家電大型専門店販売額（単位：億円）	74		0.3	3,719		2.9
ドラッグストア販売額（単位：億円）	240		7.2	7,445		5.6
ホームセンター販売額（単位：億円）	63		▲ 4.5	2,257		▲ 1.2
乗用車新車新規登録・届出台数（単位：台）	10,732		▲ 6.7	328,042		▲ 7.4
新設住宅着工戸数（単位：戸）	1,041		▲ 8.4	57,630		▲ 4.9
公共工事請負金額（単位：億円）	387		24.6	8,547		23.6
有効求人倍率（季節調整済）	1.30	（前月差	0.00）	1.19	（前月差	0.01）
企業倒産件数（単位：件）	22		29.41	851		11.38

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。有効求人倍率(季節調整済)は、前月差(ポイント差)を示す。

（本発表資料のお問い合わせ先）
四国経済産業局 総務企画部参事官（調査担当） 重岡
担当者：三野
電話：087-811-8509（直通）
URL：<https://www.shikoku.meti.go.jp/>

四国地域の経済動向

(2026年2月分)

1. 鉱工業生産 ～一進一退～

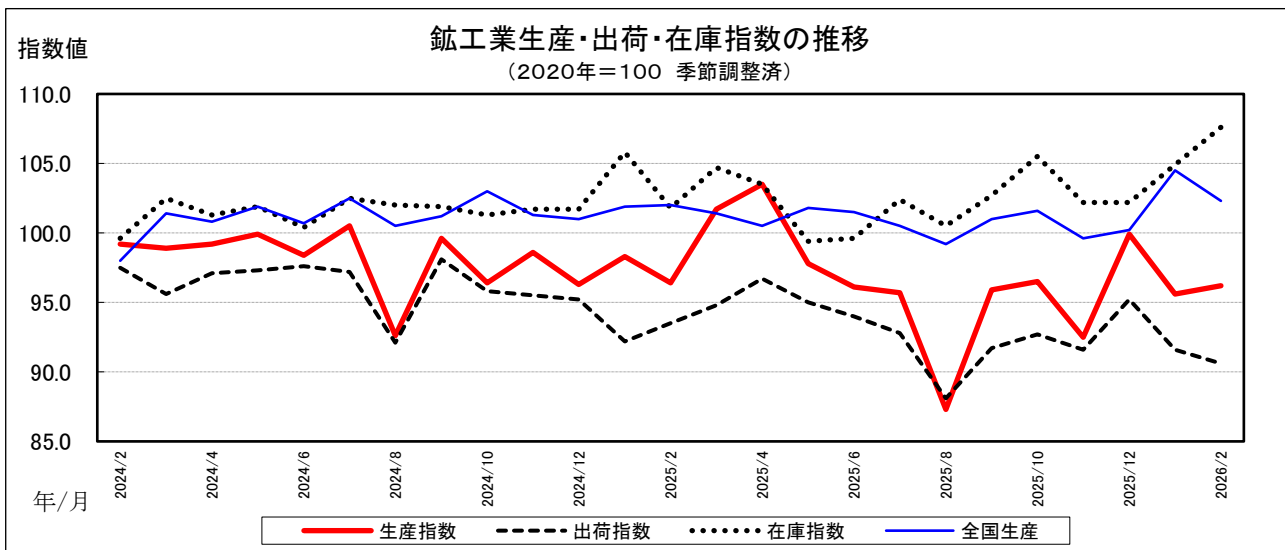
当月の鉱工業指数をみると、前月比では、生産は2カ月ぶりの上昇、出荷は2カ月連続の低下、在庫は2カ月連続の上昇、在庫率は2カ月連続の上昇となった。なお、前年同月比では、生産は2カ月連続の低下、出荷は2カ月連続の低下、在庫は2カ月ぶりの上昇、在庫率は2カ月ぶりの上昇となった。

生産は、前月比0.6%増(前年同月比0.2%減)となり、生産指数(季節調整済)は96.2となった。業種別にみると、電気機械工業、非鉄金属工業などが上昇し、汎用・生産用機械工業、プラスチック製品工業などが低下した。出荷は、前月比1.1%減(前年同月比3.1%減)となった。業種別にみると、電気機械工業、鉄鋼業などが上昇し、汎用・生産用機械工業、化学・石油石炭製品工業などが低下した。在庫は、前月比2.6%増(前年同月比5.7%増)となった。業種別にみると、非鉄金属工業、汎用・生産用機械工業などが上昇し、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが低下した。在庫率は、前月比6.3%増(前年同月比3.3%増)となった。

【鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) 2020年=100】

(増減率:%)

前月(年)比	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
生産指数	▲ 1.2	9.9	0.6	▲ 4.1	8.0	▲ 4.3	0.6
出荷指数	▲ 3.3	4.1	1.1	▲ 1.2	3.9	▲ 3.8	▲ 1.1
在庫指数	0.5	2.2	2.7	▲ 3.1	0.0	2.6	2.6



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「鉱工業指数」、四国経済産業局「四国地域の鉱工業生産・出荷・在庫指数」)

2. 個人消費 ～持ち直している～

(1) 小売販売

当月の百貨店・スーパー258店(百貨店4店とスーパー254店)の販売額合計は430.8億円で、前年同月比0.3%増と16カ月連続で前年を上回った。

業態別にみると、百貨店4店の販売額は52.0億円で、前年同月比3.9%増と2カ月連続で前年を上回った。品目別にみると、その他の商品は高級時計や美術品などの高額品が好調だったことなどから、5カ月連続で前年を上回った。飲食料品は催事効果などから、2カ月連続で前年を上回った。一方、衣料品は紳士服、婦人服ともに春物衣料が苦戦したことなどから、3カ月連続で前年を下回った。

スーパー254店の販売額は378.8億円で、前年同月比0.1%減と16カ月ぶりに前年を下回った。品目別にみると、飲食料品は白菜やレタスなどの葉物野菜を中心に相場高が落ち着いたことにより生鮮野菜が低調だったことなどから、16カ月ぶりに前年を下回った。衣料品は紳士服、婦人服ともに伸び悩み、肌着も振るわなかったことなどから、6カ月連続で前年を下回った。一方、その他の商品は玩具や文房具、化粧品が好調だったことなどから、12カ月連続で前年を上回った。

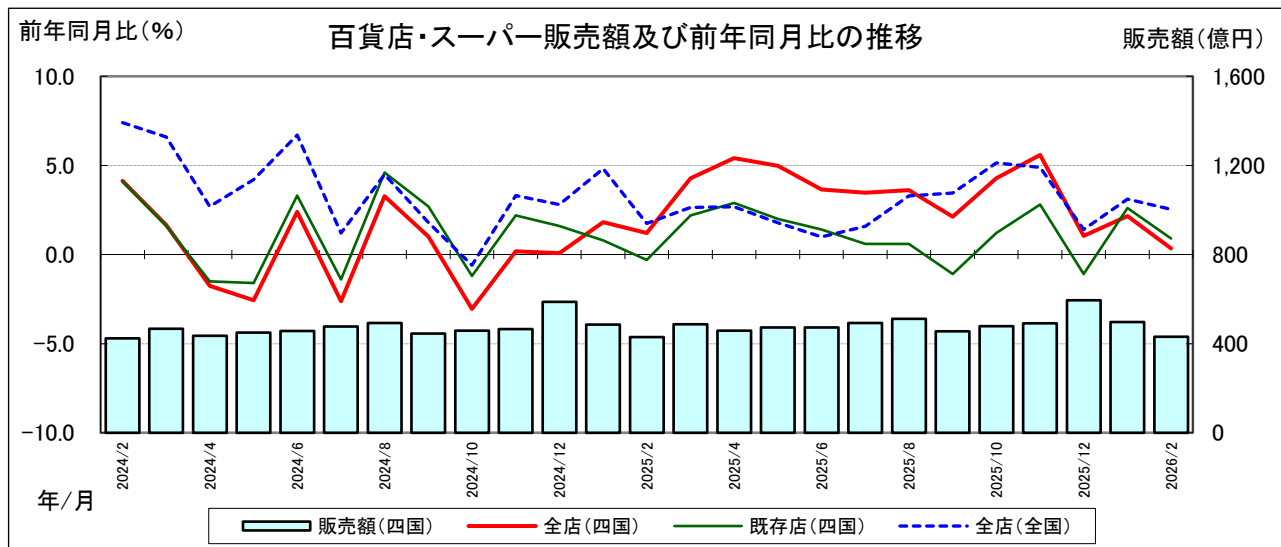
コンビニエンスストア1,575店の商品販売額及びサービス売上高は231.7億円で、前年同月比0.8%増と12カ月連続で前年を上回った。

家電大型専門店83店の販売額は74.2億円で、前年同月比0.3%増と2カ月連続で前年を上回った。
 ドラッグストア687店の販売額は239.9億円で、前年同月比7.2%増と56カ月連続で前年を上回った。
 ホームセンター203店の販売額は63.0億円で、前年同月比4.5%減と8カ月連続で前年を下回った。

【百貨店・スーパー販売額】

(増減率:%)

前年同月(年)比	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
全店	3.4	2.1	4.3	5.6	1.0	2.2	0.3
既存店	1.0	▲ 1.1	1.2	2.8	▲ 1.1	2.6	0.9



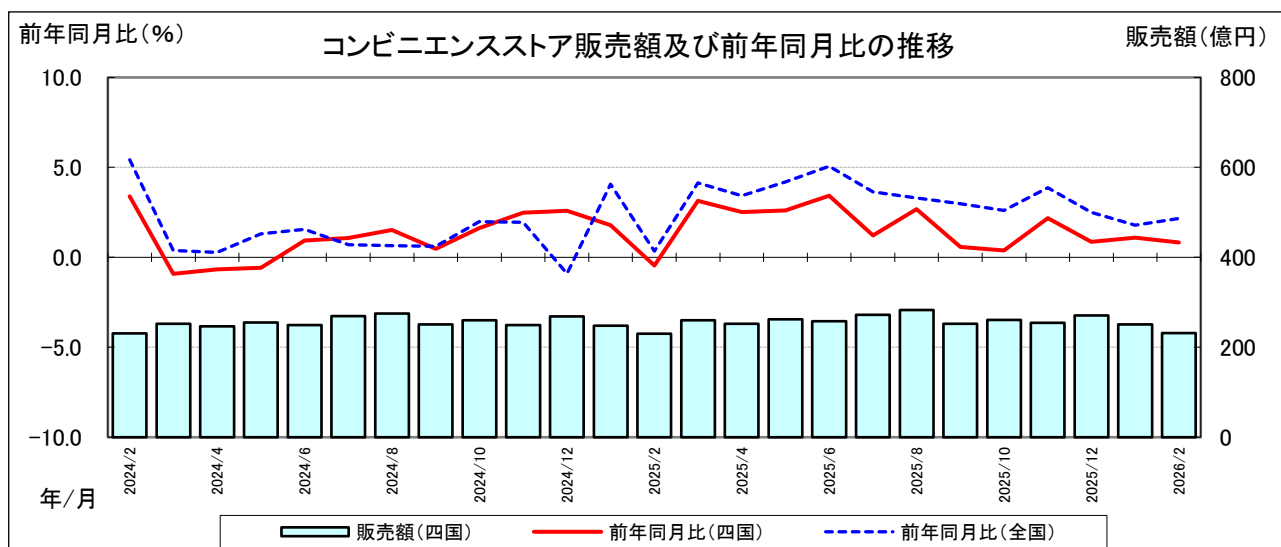
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」、四国経済産業局「四国地域の百貨店・スーパー販売状況」)

【コンビニエンスストア販売額】

(増減率:%)

前年同月(年)比	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	1.8	0.6	0.4	2.2	0.9	1.1	0.8



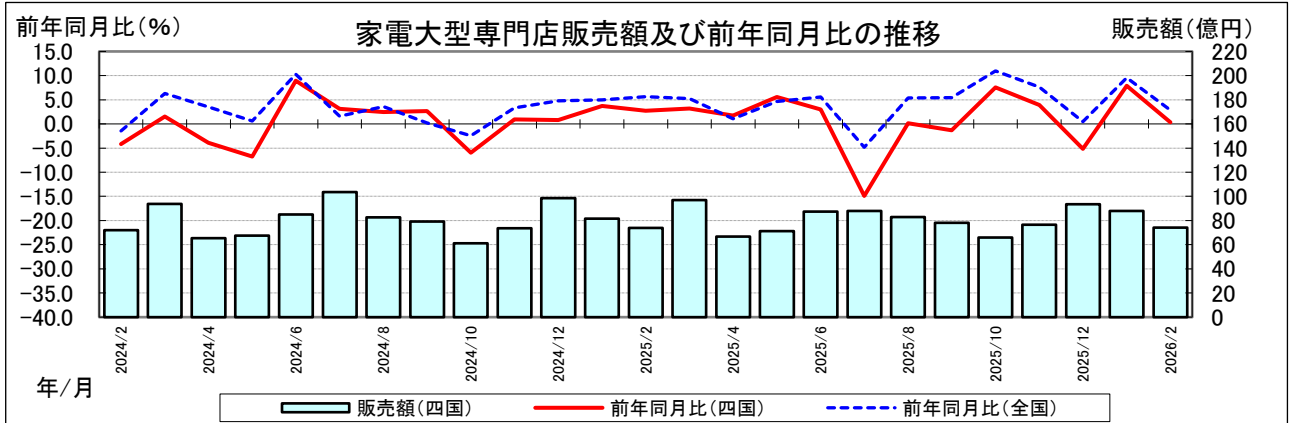
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【家電大型専門店販売額】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	0.1	▲ 1.3	7.6	3.9	▲ 5.2	7.9	0.3



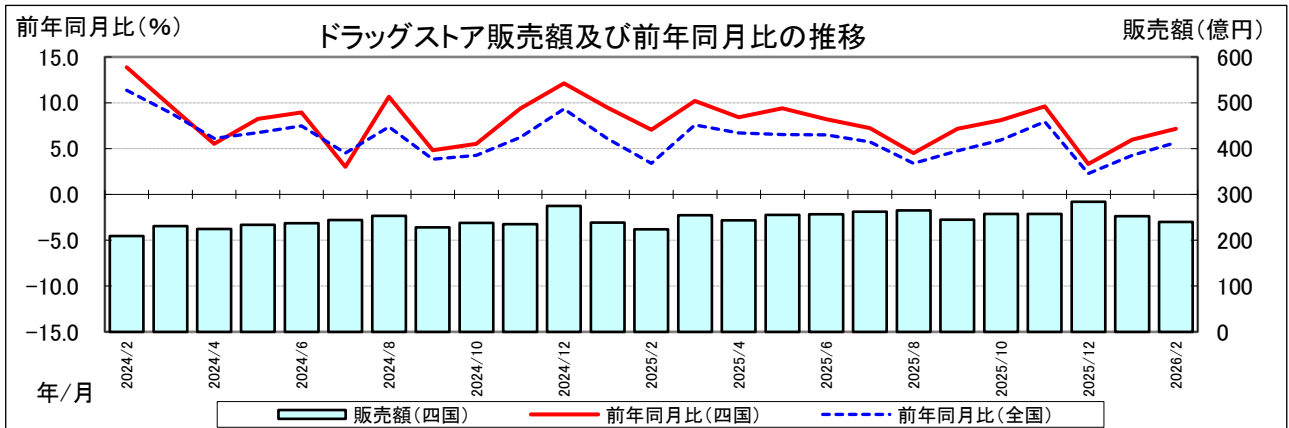
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ドラッグストア販売額】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	7.6	7.2	8.1	9.6	3.3	6.0	7.2



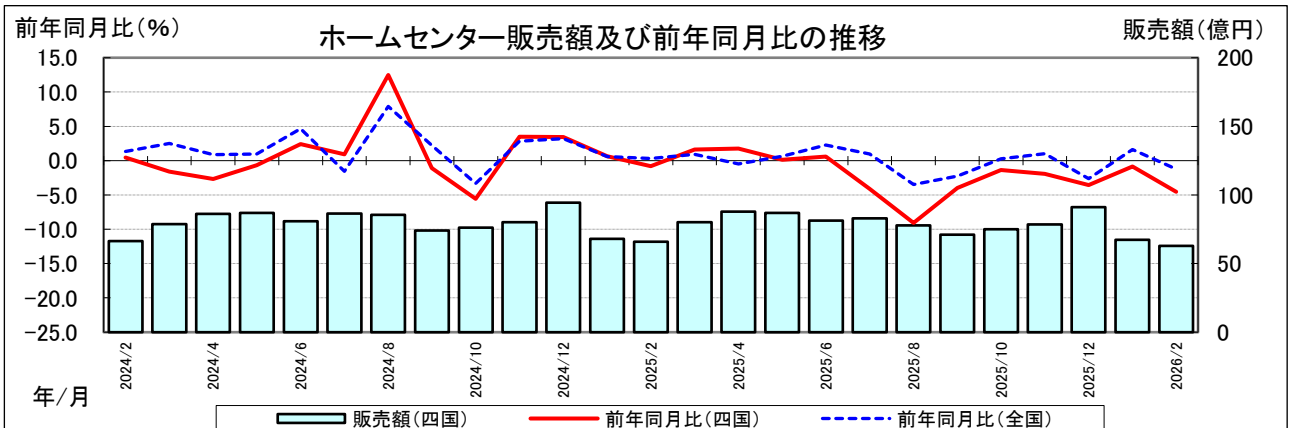
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ホームセンター販売額】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	▲ 1.8	▲ 4.0	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 4.5



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

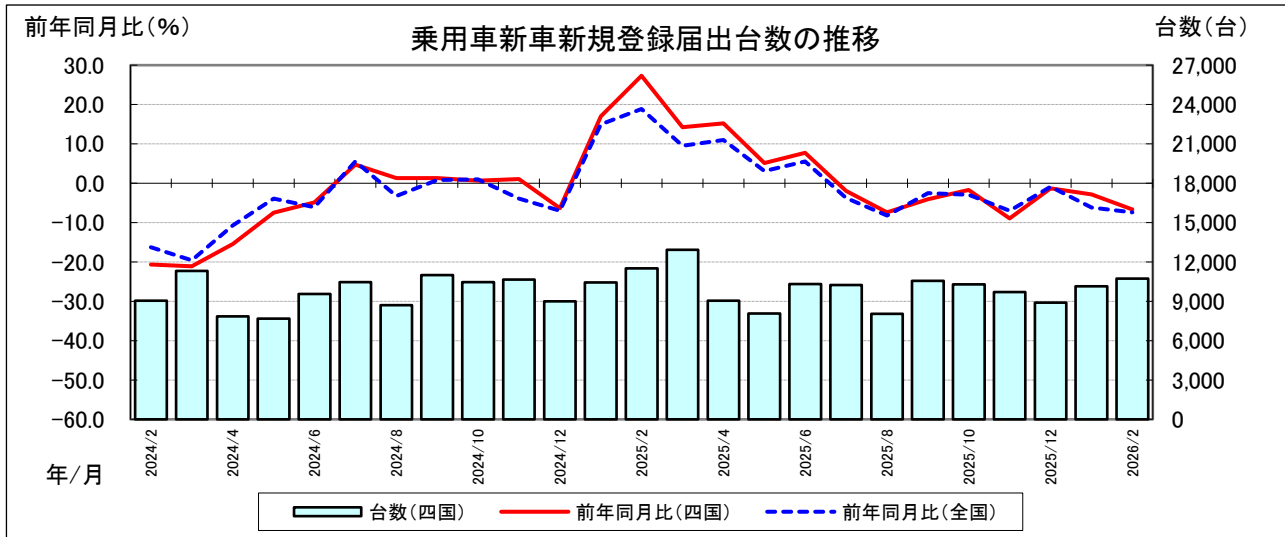
(2) 乗用車新車新規登録・届出台数

当月の乗用車新車新規登録・届出台数は10,732台で、前年同月比6.7%減となり、8カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通乗用車が前年同月比14.0%減、小型乗用車が同4.8%減、軽乗用車が同1.1%減となった。

【乗用車新車新規登録・届出台数】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	4.7	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 8.9	▲ 1.3	▲ 2.9	▲ 6.7



(出所:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

3. 住宅着工

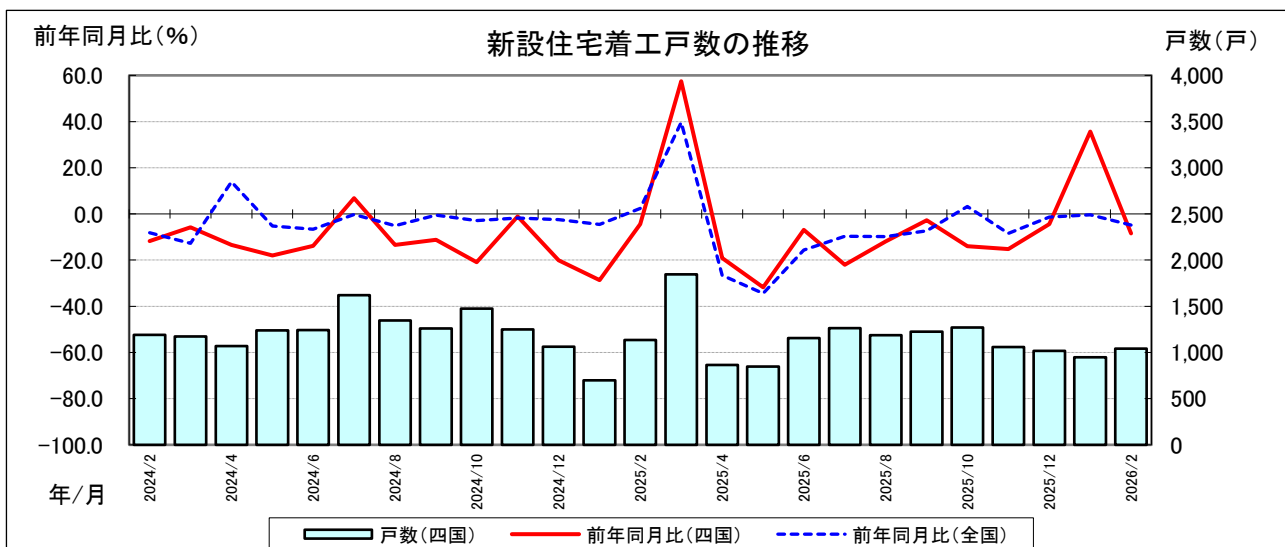
当月の新設住宅着工戸数は1,041戸で、前年同月比8.4%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

区分別で見ると、持家が前年同月比3.5%増、貸家が同19.2%減、分譲住宅が同17.8%減となった。

【新設住宅着工戸数】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	▲ 9.0	▲ 2.8	▲ 14.0	▲ 15.2	▲ 4.4	35.6	▲ 8.4



(出所:国土交通省「建築着工統計調査」)

4. 公共工事

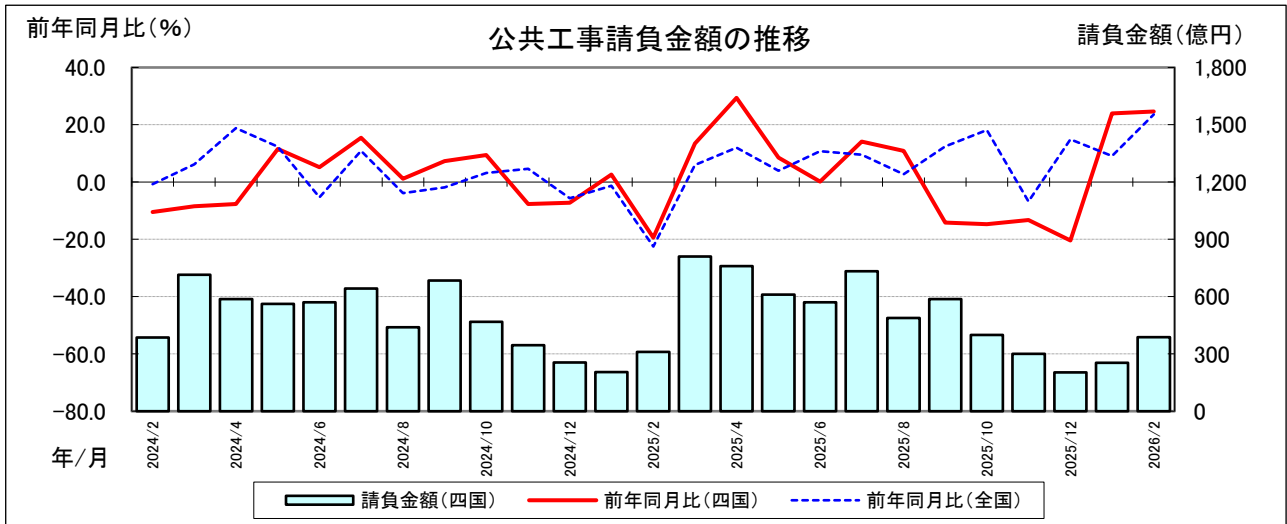
当月の公共工事の発注状況を請負金額でみると387億円で、前年同月比24.6%増と2カ月連続で前年を上回った。前年度同月累計比では4.4%増と22カ月連続で前年度を上回った。

発注者別では、国が前年同月比21.4%増、県が同0.8%減、市町村が同22.0%増、独立行政法人等が同2359.1%増となった。

【公共工事請負金額】

(増減率:%)

	2024	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年度)比	3.4	▲ 14.1	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 20.4	24.0	24.6
前年度同月累計比	-	7.6	4.9	3.5	2.1	3.1	4.4



(出所:北海道建設業信用保証㈱・東日本建設業保証㈱・西日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」)

5. 設備投資

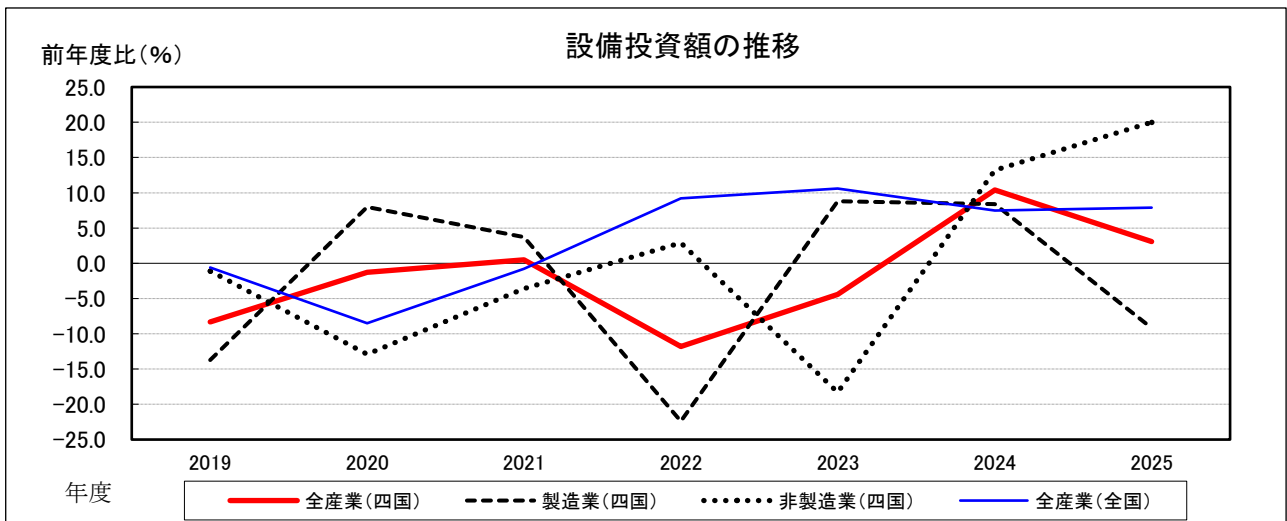
2025年度の設備投資計画は、前年度比3.1%増となっている。

業種別では、製造業が前年度比9.2%減、非製造業が同20.0%増となっている。

【設備投資額(含む土地投資額)】

(前年度比:%)

	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画
全産業	▲ 8.3	▲ 1.3	0.5	▲ 11.8	▲ 4.4	10.4	3.1
製造業	▲ 13.7	8.0	3.7	▲ 22.4	8.8	8.4	▲ 9.2
非製造業	▲ 1.1	▲ 12.9	▲ 3.6	2.9	▲ 18.3	13.2	20.0



(出所:日本銀行「企業短期経済観測調査」)

6. 貿 易

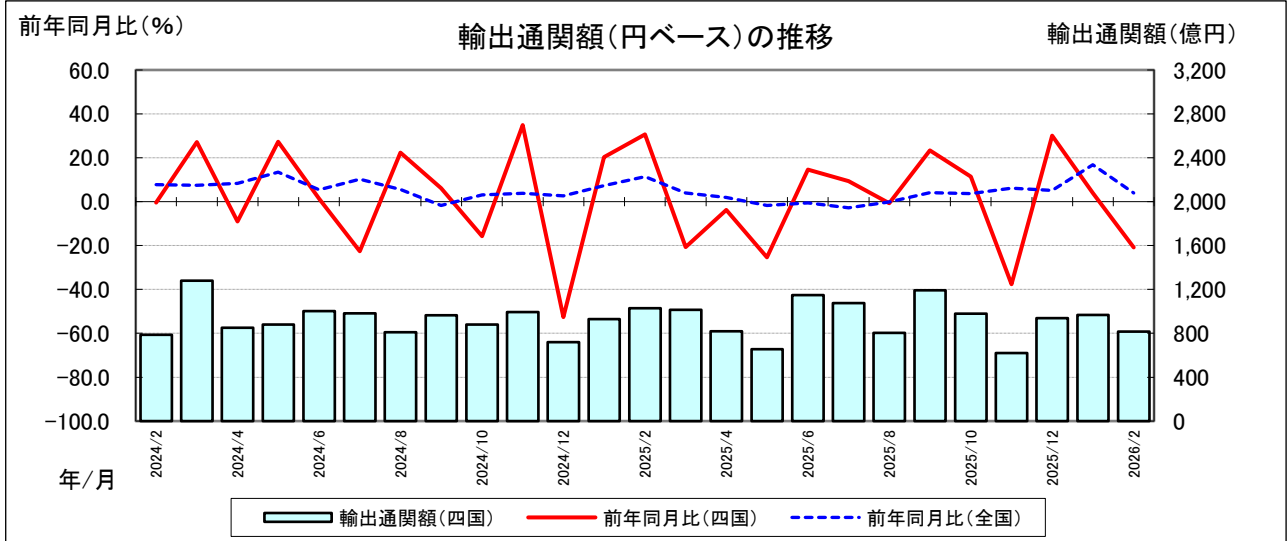
(1) 輸出

当月の輸出通関額(円ベース)は815億円で、鉱物性タール及び粗製薬品、繊維機械などが増加したものの、船舶、非鉄金属などが減少したため、前年同月比20.9%減と、3カ月ぶりに前年を下回った。

【輸出通関額】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	2.6	23.4	11.4	▲ 37.6	30.1	4.0	▲ 20.9



(出所:神戸税関「貿易統計」)

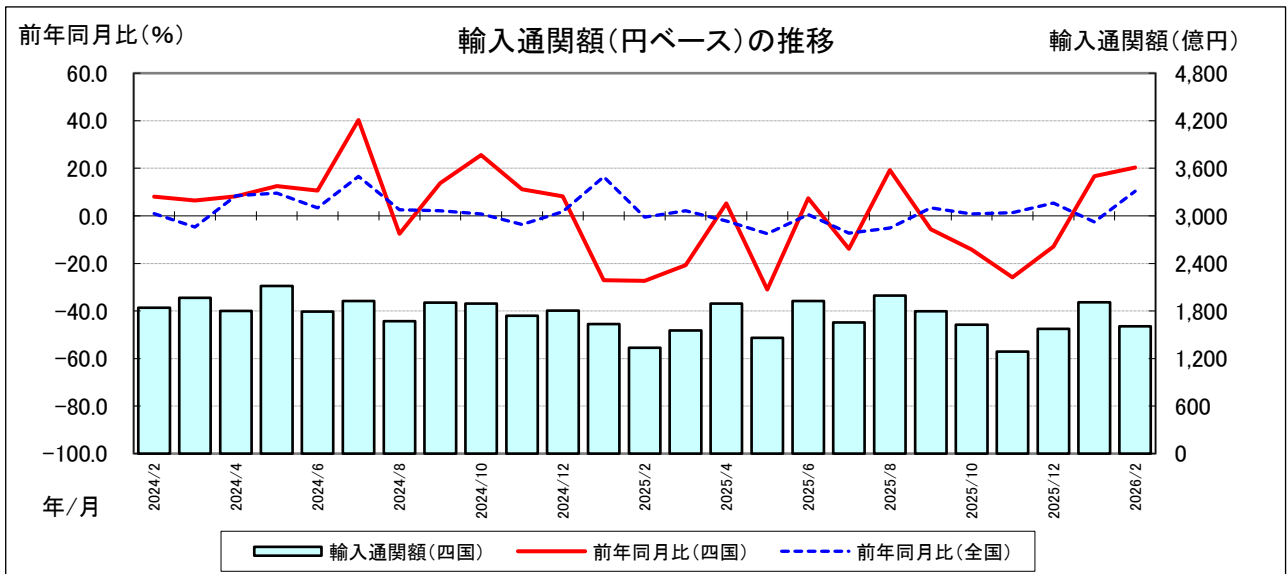
(2) 輸入

当月の輸入通関額(円ベース)は1,608億円で、石油製品、石炭などが減少したものの、原油及び粗油、金属鉱及びくずなどが増加したため、前年同月比20.3%増と、2カ月連続で前年を上回った。

【輸入通関額】

(増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前年同月(年)比	▲ 13.0	▲ 5.7	▲ 14.1	▲ 25.9	▲ 12.9	16.7	20.3



※最新月は速報値

(出所:神戸税関「貿易統計」)

7. 雇 用

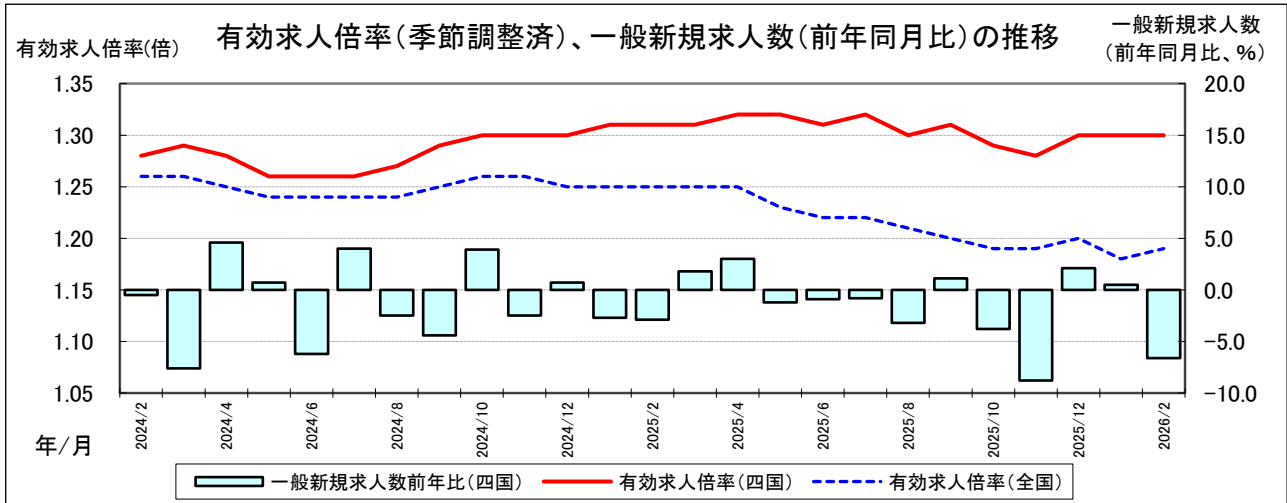
当月の雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整済)は1.30倍で、前月と同水準となった。

産業別の一般新規求人数(新規学卒、パートタイムを除く)をみると、「公務、その他」、「建設業」などが前年を上回ったものの、「医療、福祉」、「サービス業(他に分類されないもの)」などが前年を下回り、全体では前年同月比6.6%減と、3カ月ぶりに前年を下回った。

【雇用】

(倍、増減率:%)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
有効求人倍率(季節調整済)	1.31	1.31	1.29	1.28	1.30	1.30	1.30
一般新規求人数(前年同月(年)比)	▲ 1.4	1.1	▲ 3.8	▲ 8.8	2.1	0.5	▲ 6.6



8. 企業倒産

当月の企業倒産状況をみると、倒産件数は22件で前年同月比29.41%増と、2カ月連続で前年を上回った。

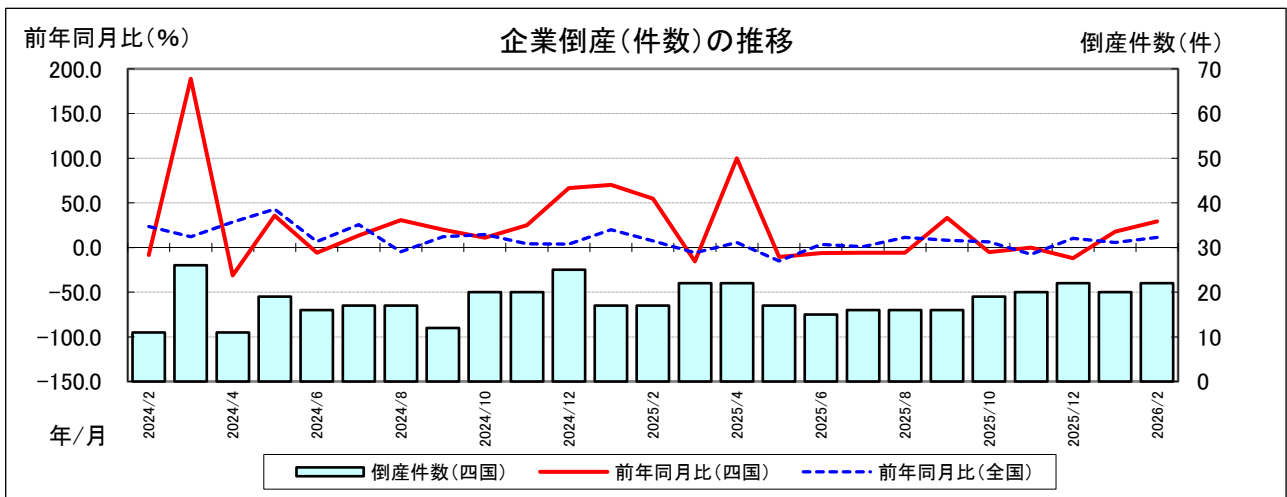
また、負債総額は26.23億円で、前年同月比95.70%減と、2カ月ぶりに前年を下回った。

2月の過去10年間をみると、倒産件数は最多、負債総額は3番目となっている。原因別では、販売不振が13件、その他が4件、既往のシワ寄せが3件、放漫経営、他社倒産の余波が各1件となっている。また、産業別では、建設業が7件、サービス業他が6件、製造業が5件、運輸業が2件、小売業、不動産業が各1件となっている。

【企業倒産】

(件、負債総額:百万円)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
件 数	219	16	19	20	22	20	22
負債総額	85,229	1,695	4,263	1,229	1,833	3,679	2,623



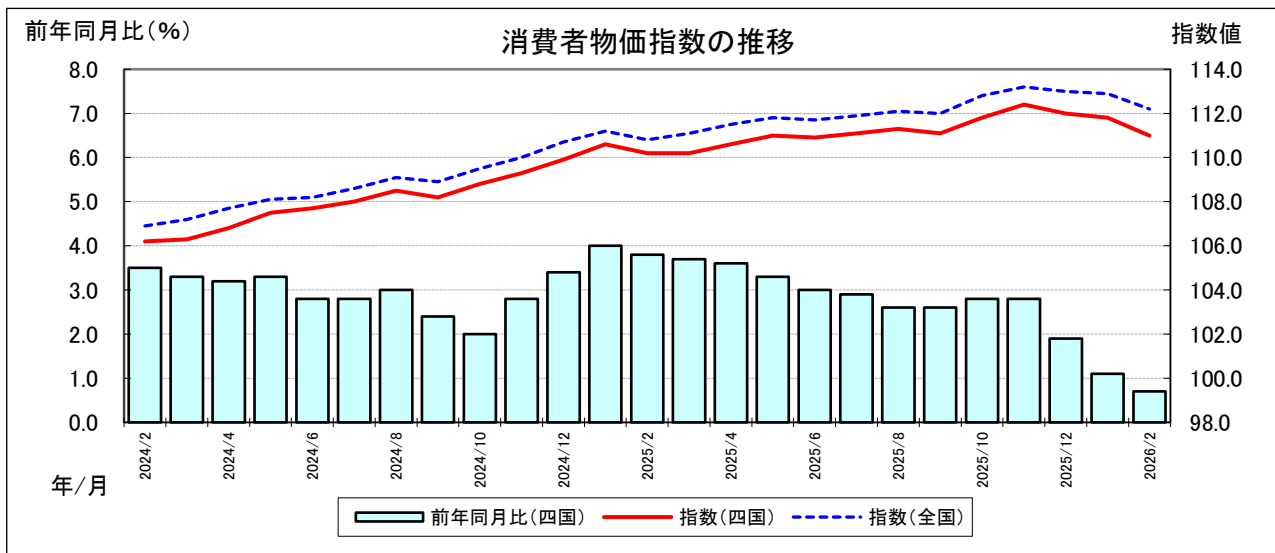
9. 消費者物価

当月の消費者物価指数は111.0で、教養娯楽、教育が上昇したものの、光熱・水道、食料などが低下したことから前月比0.7%減となった。また、前年同月比は、食料、教養娯楽などが上昇したことから0.7%増となった。

【消費者物価指数 2020年=100】

(増減率: %)

	2025	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2
前月(年)比	3.1	▲ 0.2	0.7	0.5	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.7



(出所：総務省「消費者物価指数」)